

また、本年度は高規格救急車に搭載しているAEDを更新し、救急体制の充実強化を図り、今後も地域住民の生命・財産を守り、安全で安心なまちづくりを努めてまいります。

●交通の確保につきましては、生活バスの運行は、通学や通院、買い物など交通弱者の日常生活に必要な不可欠なものであり、バス事業者への支援に努めてまいります。

また、町外の高校に通う高校生に対し、バス定期運賃の一部助成を継続してまいります。

さらには、高齢化の進行に伴い、公共交通のニーズが高まっていることから、持続可能な地域公共交通の体系づくりに向け、交通事業者を始め関係機関と連携し協議を進めるとともに、新たに地域公共交通計画を策定してまいります。

●防災減災対策につきましては、昨年は、本町に大きな被害をもたらす災害の発生はありませんでした。今年、元日に発生した「令和6年能登半島地震」のほか、全国各地において異常気象による自然災害が頻発するなど、今後もあらゆる災害の発生が懸念されております。「地域防災力」を高めるために、今一度「自助、共助、公助」の意識向上に努め、災害に強いまちを目指してまいります。

また、町内会などにおいて取り組まれていた防災訓練へ協力するほか、防災備蓄などの整備を引き続き進めてまいります。

●国道・道道の整備につきましては、道路改良や適正な維持管理について、関係機関に要望してまいります。

国道におきましては、越波・土砂災害などの対策として、花岡、大間3.7km区間の道路の嵩上げ工事である国道232号小平防災の着実な実施に向けて継続要望をはじめ、「防災・減

災、国土強靱化のための5力年加速化対策」に基づいた災害対策・老朽化対策・デジタル化などの推進について今後も要望してまいります。

●移住・定住対策につきましては、移住体験用住宅「ちよい蔵」の活用促進を図り、お試し移住の受入れを積極的に実施するとともに、都市部での移住イベントに参加し、本町の魅力発信に取り組んでまいります。

さらには、地域力の維持・強化を図るため、都市部から地域におこし協力隊員を積極的に受け入れ、定住・定着を図ってまいります。

## 福祉施策

●今日、少子化が正念場を迎えている中、人口減少対策の重要な柱であります子ども・子育て対策につきま

しては、これまでも乳幼児医療費の全額助成をはじめ、子育て世帯への経済的支援である「出産・子育て応援給付金」の支給や「紙おむつ等廃棄支援」、仕事と子育ての両立を支援するための「放課後児童クラブ」の開設及び「小平幼児センター」での保育事業を行ってまいりました。

今後も、安心して子どもを産み、育てることができるよう子育てを推進すべく「子育て世代包括支援センター」を中心に、妊娠・出産・子育てに関する包括的な相談窓口の拠点として子育て支援を行うとともに、子どもを希望する方に対しては、プ

ライバシーに配慮した相談体制を整え、不妊治療の先進医療に対する治療費、交通費などの一部助成を行うことで、経済的・精神的な負担の軽減を図ってまいります。

●高齢者福祉につきましては、高齢者の方々が、社会から孤立せず、住みなれた地域で、安心して自立した生活ができるよう、「高齢者交通費助成事業」や「緊急通報サービス支援事業」、「高齢者雪害対策支援事業」さらには「家庭奉仕員による家庭訪問事業」などの日常生活を直接支える各種事業を継続実施し、高齢者が安全かつ安心して生活できるよう最大限配慮してまいります。

障がい者に対する支援につきましては、新たにスタートする「第7期小平町障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画」の基本理念に基づき、障がいのある方が、自立した生活を営むことができるよう、日常生活用具や補装具の給付、自立支援医療費の助成や就労継続支援を行うとともに、施設入所者については、利用者の希望に沿ったサービスが継続的に提供されるよう、障がい福祉サービス事業所との連携強化を図ってまいります。

また、児童の障がいの早期発見、療育を進めるため、保健師や医療機関、教育機関などとの連携体制の確保に努めるほか、「留萌市子ども発達支援センター」との連携を図りながら、保護者からの相談に応じる体制の整備、サービス利用の調整・モニタリングなどが確実に提供されるよう支援してまいります。

## 健康づくり

●町民一人ひとりの健康づくりを支援していくため「小平町健康増進計画」の基本理念や、国が推進する健康日本21（第3次）に基づき、町民が健やかで心豊かに生活できるよう、

ライフスタイルに合わせた保健事業を展開してまいります。町民の健康意識の醸成を図るため、特定健診やがん検診の受診勧奨を積極的に行うとともに、健診結果の説明会などを通じて、疾病の早期発見と早期治療を促すなど、生活習慣病予防・重症化予防に取り組んでまいります。

また、高齢者につきましては、インフルエンザや肺炎球菌をはじめ、新型コロナウイルスの予防接種費用を助成するほか、新たに带状疱疹ワクチン及びRSウイルスワクチンの予防接種に対する費用助成を開始し、発病予防や発病後の重症化予防に努めてまいります。

●医療・介護施策  
医療施策につきましては、地域にあって最低限必要な医療水準の維持及び医療提供体制の確保を図ることは、町民の安心な暮らしに資するものでありますことから、小平診療所の骨密度測定装置の医療機器を更新するなど、今後とも小平、鬼鹿それぞれの診療所及び歯科診療所において、安心して支える地域医療の提供に努めてまいります。

●国民健康保険につきましては、令和12年度に予定されている保険税率の全道統一化に向け、令和8年度までに資産割を廃止する必要があることから、昨年度より資産割を段階的に減らして行く一方で、所得割を増やし、北海道が示す標準保険税率の水準まで引き上げていくための保険税率の改正を行ったところであり、一般会計からの法定外繰入を行わない国民健康保険制度の健全な運営のため、今後とも国民健康保険税の適正な課税と収納率の向上に努めてまいります。

●介護施策につきましては、げんきアップ体操教室やデイサービスの提供と、増加する後期高齢者の孤立

を解消してまいります。町民の健康意識の醸成を図るため、特定健診やがん検診の受診勧奨を積極的に行うとともに、健診結果の説明会などを通じて、疾病の早期発見と早期治療を促すなど、生活習慣病予防・重症化予防に取り組んでまいります。

また、高齢者につきましては、インフルエンザや肺炎球菌をはじめ、新型コロナウイルスの予防接種費用を助成するほか、新たに带状疱疹ワクチン及びRSウイルスワクチンの予防接種に対する費用助成を開始し、発病予防や発病後の重症化予防に努めてまいります。

●医療施策につきましては、地域にあって最低限必要な医療水準の維持及び医療提供体制の確保を図ることは、町民の安心な暮らしに資するものでありますことから、小平診療所の骨密度測定装置の医療機器を更新するなど、今後とも小平、鬼鹿それぞれの診療所及び歯科診療所において、安心して支える地域医療の提供に努めてまいります。

●国民健康保険につきましては、令和12年度に予定されている保険税率の全道統一化に向け、令和8年度までに資産割を廃止する必要があることから、昨年度より資産割を段階的に減らして行く一方で、所得割を増やし、北海道が示す標準保険税率の水準まで引き上げていくための保険税率の改正を行ったところであり、一般会計からの法定外繰入を行わない国民健康保険制度の健全な運営のため、今後とも国民健康保険税の適正な課税と収納率の向上に努めてまいります。

●介護施策につきましては、げんきアップ体操教室やデイサービスの提供と、増加する後期高齢者の孤立

を解消してまいります。町民の健康意識の醸成を図るため、特定健診やがん検診の受診勧奨を積極的に行うとともに、健診結果の説明会などを通じて、疾病の早期発見と早期治療を促すなど、生活習慣病予防・重症化予防に取り組んでまいります。